

# Kanazawa University Pharmacist Standard

## プログラムガイドブック

金沢大学附属病院

薬剤部 V チーム

2020 年 3 月

はじめに

少子高齢化が進む日本では、全ての世代の人々が安心して持続可能な医療体制とするために病院完結型から地域完結型医療への転換が必要とされる。そのため、病院は高度急性期、急性期、回復期、慢性期など一層の機能分化が進められている。薬剤部としても機能の異なる病院間や地域薬局等との連携と協働を強化した地域包括ケアシステムの中でのロールモデルを構築する必要がある。

金沢大学附属病院薬剤部は、薬剤部規程第3条で患者の診療等に必要な医薬品及び治験薬の調剤、製剤及び情報等の収集管理並びに服薬指導等の業務を行い、併せて、臨床薬理学及び医療薬学の教育(研修を含む)及び研究を行うことを業務として定めている。つまり、本院の薬剤部は、診療に加え、教育・研究も職務として行うことを特徴とする薬剤部である。

本院薬剤部は2017年に創基150年を迎え、課題解決能力に秀でた学位取得者と大学院生、高度な専門知識と技能をもちリーダーシップを発揮する志をもつメンバーで構成する「薬剤部ビジョンリーダーチーム (V チーム)」を組織し、これからのあるべき医療体制下での本院薬剤部の将来ビジョンと薬剤師人材の基準「金沢大学薬剤師スタンダード(KUPS)」を策定し、新たな人材育成を開始した。「金沢大学薬剤師スタンダード(KUPS)」は、薬剤師の幅広い活動領域においてバランスが取れて優れている薬剤師の基準で自他共に県内外からも高い評価を受け渴望される優れた薬剤師ブランドとなるものである。

KUPS 人材育成システムは5年間の任期付き常勤職員 (KUPS 薬剤師) としての育成プログラムで、本院薬剤部の将来ビジョンと各個人のキャリアプランと人生設計を踏まえつつ、各個人に秘められた可能性を最大限に引き出すことを目的としている。医師の卒後初期研修にあたる期間 (1～2年目) は中央部門を中心に基本的な技術を修得する。1年目の後半から病棟にも出向き、病棟に配置された薬剤師のサポーターとして病棟活動を始める。さらに半年ごとに内科系・外科系病棟、外来化学療法室、治験センターをローテーションし、最初の2年間で基本的な業務を適切に行えるレベルになることを目指す。さらに、後期研修にあたる期間 (3～5年目) は主担当として病棟や外来化学療法室の活動に従事する。

KUPS 薬剤師は、診療、教育、研究、専門資格等、社会貢献、コンプライアンスの 6 つの領域について、スプレッドシートを用いてその状況を把握し、メンターや上司とで面談を重ね、ライフワークバランスを確認し、希望に応じて専門薬剤師、認定薬剤師、学位取得等の支援を受けるとともに、公私に渡る悩みの解決を図りつつ自己実現を目指す。また、機能の異なる施設間(中小病院、地域の保険薬局、PMDA、厚労省、他大学等)との人事交流にも参加することで、病院機能の異なる各施設の状況を熟知し、互いの溝を埋め全体を俯瞰することができる人材となる。

本人材育成プログラムは、宝町に研究室を置く薬学系臨床教員との密な連携のもと、金沢大学医薬保健学域薬学類教育の 3 つのポリシーに対応した薬学 6 年制教育の新カリキュラムによる卒前教育とも接続するよう、2025 年の医療体制を見据えた薬局病院統合型の実務実習プログラムとも呼応している。

本院薬剤部には、幅広い領域にわたって延べ約 70 名の指導薬剤師、専門薬剤師、認定薬剤師の認定資格者が所属し、同僚や後輩を育てるノウハウも蓄積している。この素晴らしい人的、知的財産を生かして、地域の各施設で必要としている資格や人材を、おおむね 5 年間で習得し、再び各施設で活躍してもらいたい。

#### 金沢大学附属病院薬剤部の将来ビジョン 2025

- 医療資源の再分配が完了後の高度急性期および一般急性期を担うプロ集団である
- 新たな医療体制を先導する人材の宝庫であり、そのような人材となることを志す者に開かれた成長の場である
- 臨床から基礎へ、基礎から臨床へ、課題解決の懸け橋となるリバーストランスレーショナル研究を推進する Pharmacist-Scientist 集団である

## 1. 目的

薬剤師の幅広い活動領域において高いレベルでバランスが取れて優れている薬剤師の育成

## 2. 概要

目的を達成するためのルーブリックが各領域（診療、教育、研究、専門資格、社会貢献、コンプライアンス）ごとに設定されており、職員として先の目標に到達することを念頭に、薬剤師業務を実践的に行いながら、『前に踏み出す力』、『考え抜く力』、『チームで働く力』を段階的に習得していく。

## 3. 期間

最大5年

## 4. 募集人数・選考方法

(1) 募集人数：若干名

(2) 応募資格：薬剤師免許取得者あるいは見込みの者、年齢は不問

(3) 提出書類：

- ・指導教員等の推薦書、または問合せ可能な人物の連絡先を記載した書類
- ・履歴書（下記の本院薬剤部 HP からダウンロードし A3 版で提出すること）

URL： <http://pharmacy.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

(4) 選考方法：筆記試験（臨床薬剤学、小論文）、面接

## 5. 指導体制

本院での診療、教育、研究にかかわるすべての薬剤部職員が指導にあたる。

V チームメンバーは各 KUPS 薬剤師のメンターとなり、KUPS スケジュールや項目の達成度を定期的に確認し、面談等を通じて目標到達のための支援・調整を行う。

## 6. 一般目標

- A) 自ら足りない点に気づくことにより自己育成できるバランスの取れた薬剤師になる。
- B) 専門・認定薬剤師を取得できる能力を身に着けた薬剤師になる。
- C) 医療機能の異なる各施設の状況を把握し、医療全体を俯瞰し行動できる人材になる。
- D) リバーstransレーショナル研究を推進できる Pharmacist-Scientist になる。
- E) 一連の育成プログラムを経て、自身のキャリアパスと人生設計を構築できる。

## 7. 到達目標

薬剤師生涯設計のスプレッドシートであるルーブリックは、診療、教育、研究、専門資格、社会貢献、コンプライアンスの各項目を「学生レベル」から「国内最高レベル」の 10 段階にレベル分けしている。実習終了時をレベル 2、2 年研修の到達レベルを 4、5 年研修の到達レベルを 5、さらには主任レベルを 7 と設定した。KUPS 薬剤師の到達目標はルーブリックのレベル 5 以上とする。

## 8. 到達状況の評価（指導薬剤師、自己評価、指導薬剤師・指導体制の評価）

ルーブリックに基づき、KUPS 薬剤師が自己評価を行うとともに、指導薬剤師はそれを踏まえた評価を半期ごとに行う。

### (1) 自己評価

ルーブリックにより、小項目ごとに 10 段階で自己評価を行う。また、介入症例数、サマリ作成件数、薬剤管理指導件数、経験した疾患・介入した薬物療法の件数、プレアボイド報告・副作用報告件数等を記録することにより自らの学習状況を把握した上で、＜良かった点＞及び＜次回改善したい点＞について自己評価を行う。

### (2) 指導薬剤師による評価

ルーブリックにより、KUPS の小項目ごとに 10 段階でアセスメントを行う。また、＜

良かった点>及び<残念だった点(次期の課題)>についてアセスメントを行い、<次期担当者への申し送り事項>を記載する。

(3) 薬剤部長による助言

(1)・(2)の評価を踏まえ、VチームでKUPS薬剤師の総合的な到達度を議論し、目標達成や軌道修正について、薬剤部長が助言を行う。

9. 修了認定

下記の要件を満たし、かつ部長・副部長で審議した結果、金沢大学附属病院薬剤部における「Standard」なレベルに到達したKUPS薬剤師であると認定する。なお、認定の審議は半期に一度実施する。

- 認定要件 -

- ① ルーブリックのすべての項目についてレベル5以上に到達もしくは到達の見込みである。
- ② 介入症例におけるサマ리를50件以上作成している。
- ③ 症例報告会において5回以上、症例を報告している。
- ④ 筆頭での学会発表を2回以上実施する。

10. 処遇と待遇

所属 : 金沢大学附属病院薬剤部

身分 : 任期付職員

勤務時間 : 原則として、週38時間45分勤務

11. 問い合わせ先

〒920-8641

石川県金沢市宝町 13-1

金沢大学附属病院薬剤部 薬務室 山本美砂子

TEL : 076-265-2047

E-mail : yamamoto-misako@staff.kanazawa-u.ac.jp

12. 代表的な KUPS スケジュール

	年間の予定・教育・評価・課題												サマリー	備考	臨床研究・学会発表					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
KUPSI	年間予定 教育・評価・課題	調剤室				初回指導、持参薬確認 (各病棟の忙しい曜日にあてがう)										症例報告会	臨床研究のプロセス説明			
				自己評価・配属のための情報			自己評価・配属のための情報	調剤室アカウンタブルカード作成・自己評価	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント	病棟・外ケモ配属				自己評価						
KUPSII	年間予定																			
	教育・評価・課題	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント						自己評価												
KUPSIII	年間予定																			
	教育・評価・課題	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント						自己評価												
KUPSIV	年間予定																			
	教育・評価・課題	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント					インシデントの基づく知識問題 2問作成													
KUPSV	年間予定																			
	教育・評価・課題	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント					インシデントの基づく知識問題 2問作成													